

令和7年度 年間授業計画

教 科：国語 科 目：言語表現 単位数：2

対象学年：第2学年

使用教材	教科書：	なし
	補助教材：	国語表現 基礎練習ノート(大修館)

教科（国語）の目標

【知識及び技能】	生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】	生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。
【学びに向かう力、人間性等】	言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目（言語表現）の目標

【知識及び技能】	伝統的な言語文化及び言葉の特徴や決まり、漢字・慣用句などについて理解し、知識を身につける。
【思考力、判断力、表現力等】	目的や場に応じて効果的に話し、的確に聴き取ったり、話し合う活動を通して、相手や目的、意図に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えをまとめ、深められるようにする。文章を的確に読み取り、自分の考えを深め、発展させることができるようにする。
【学びに向かう力、人間性等】	国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標		指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当時数
				話・聞	書	読					
1 学 期	単元	自己紹介・ことで伝える	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	○	○		次の観点別評価規準に従い評価する。	○	○	○	4
	知識及び技能	指導事項					知識・技能				
		他者に伝わる適切な比喻や言葉遣いを意識して使用することができるようにする。	話す力を養う				他者に伝わる適切な比喻や言葉遣いを意識して使用することができるようにする。				
	思考力、判断力、表現力等	教材					思考・判断・表現				
		自己を客観的に見つめ適切な物に例えて工夫した自己PRができるようにする。	ワークシート・副教材				自己を客観的に見つめ適切な物に例えて工夫した自己PRができるようにする。				
	学びに向かう力、人間性等	一人1台端末の活用場面					主体的に学習に取り組む態度				
		意欲的に学習に取り組み、他者を理解しようとする姿勢をもつことができるようにする。	課題の提出				意欲的に学習に取り組み、他者を理解しようとする姿勢をもつことができるようにする。				
	単元	エッセイ・小論文を書く	指導項目に対し、次の教材等を活用する。		○		次の観点別評価規準に従い評価する。	○	○	○	4
	知識及び技能	指導事項					知識・技能				
		ボキャブラリーが豊富で正しい表記を用いて表現を工夫することができるようにする。	書く力を養う				説明の順序を考えボキャブラリーが豊富で表現を工夫できる。				
	思考力、判断力、表現力等	教材					思考・判断・表現				
		読み手に伝えるために、文体や構成、言葉の選び方を工夫できる力を身に付ける。	ワークシート・副教材				読み手に伝えるために、文体や構成、言葉の選び方を工夫できる。				
	学びに向かう力、人間性等	一人1台端末の活用場面					主体的に学習に取り組む態度				
		話題を厳選し、読み手を楽しませる趣向をこらそうと意欲的に取り組むことができるようにする。	課題の提出				話題を厳選し、読み手を楽しませる趣向をこらそうと意欲的に取り組むもうとしている。				
	単元	小論文・作文を書く	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	○	○		次の観点別評価規準に従い評価する。	○	○	○	4
	知識及び技能	指導事項					知識・技能				
		説明の順序を考え豊富な語彙で表現を工夫する力を身に付ける。	書く力を養う				説明の順序を考えボキャブラリーが豊富で表現を工夫できる。				
	思考力、判断力、表現力等	教材					思考・判断・表現				
		テーマに応じて理由や根拠を明確にし、筋道を立てて説得力のある文章を書く力を身に付ける。	ワークシート・副教材				テーマに応じて理由や根拠を明確にし、筋道を立てて説得力のある文章を書くことができる。				
	学びに向かう力、人間性等	一人1台端末の活用場面					主体的に学習に取り組む態度				
		読み手が納得できるように意欲的に取り組むことができるようにする。	課題の提出				話題を厳選し、読み手を納得できるように意欲的に取り組むことができる。				
	単元	ビブリオバトル	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	○	○	○	次の観点別評価規準に従い評価する。	○	○	○	10
	知識及び技能	指導事項					知識・技能				
		選んだ本や著者について調べ効果的に構成する力を身につける。	読む力・書く力・話す力				選んだ本や著者について調べ効果的に構成できる。				
	思考力、判断力、表現力等	教材					思考・判断・表現				
		的確な構成、展開で本を紹介できる力、聞き手を引き込む話し方を身に付ける。	ワークシート・副教材				効果的に伝わるように適切な声の大きさや速さで発表できる。的確な構成、展開で本を紹介できる。				
	学びに向かう力、人間性等	一人1台端末の活用場面					主体的に学習に取り組む態度				
		意欲的に学習に取り組み、他者を理解しようとするができるようにする。	課題の提出				意欲的に学習に取り組み、他者を理解しようとする姿勢をもつことができる。				

	単元の具体的な指導目標		指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当時数
				話・聞	書	読					
2 学 期	単元	話し合いを意見文につなげる	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	○	○		次の観点別評価規準に従い評価する。	○	○	○	8
	知識及び技能		指導事項				知識・技能				
	話し合いに適切な言葉遣いを意識して、使いこなす力を身に付ける。		話す力と書く力を養う				話し合いに適切な言葉遣いを意識して、使いこなすことができる。				
	思考力、判断力、表現力等		教材				思考・判断・表現				
	相手の話を良く聞き、理解した上で、自分の意見を適切に筋道を立て、根拠を示しながら述べる力を育てる。		ワークシート・副教材				相手の話を良く聞き、理解した上で、自分の意見を適切に筋道を立て、根拠を示しながら述べることができる。				
	学びに向かう力、人間性等		一人1台端末の活用場面				主体的に学習に取り組む態度				
	積極的に話し合いに取り組み、他者を尊重する力を身に付ける。		課題の提出				積極的に話し合いに取り組んでいる。他者を尊重することができる。				
	単元	自己を見つめた文章を書く	指導項目に対し、次の教材等を活用する。		○		次の観点別評価規準に従い評価する。	○	○	○	6
	知識及び技能		指導事項				知識・技能				
	常用漢字を正確に使い正しい表記や整った文で書ける力を身につける。		書く力を養う				常用漢字を正確に使い正しい表記や整った文で書ける。				
	思考力、判断力、表現力等		教材				思考・判断・表現				
	相手の話を良く聞き、理解したうえで、自分の意見を適切に筋道を立て、根拠を示しながら述べる力を身に付ける。		ワークシート・副教材				相手の話を良く聞き、理解したうえで、自分の意見を適切に筋道を立て、根拠を示しながら述べることができる。				
	学びに向かう力、人間性等		一人1台端末の活用場面				主体的に学習に取り組む態度				
	自己を見つめ、考えを深め、積極的に課題に取り組むことができるようにする。		課題の提出				自己を見つめ、考えを深めている。積極的に課題に取り組むことができる。				
	単元	話し合いを意見文につなげる	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	○	○		次の観点別評価規準に従い評価する。	○	○	○	6
	知識及び技能		指導事項				知識・技能				
	話し合いに適切な言葉遣いを意識して、使いこなす力を身に付ける。		話す力と書く力を養う				話し合いに適切な言葉遣いを意識して、使いこなすことができる。				
	思考力、判断力、表現力等		教材				思考・判断・表現				
	相手の話を良く聞き、理解した上で、自分の意見を適切に筋道を立て、根拠を示しながら述べる力を育てる。		ワークシート・副教材				相手の話を良く聞き、理解した上で、自分の意見を適切に筋道を立て、根拠を示しながら述べることができる。				
	学びに向かう力、人間性等		一人1台端末の活用場面				主体的に学習に取り組む態度				
	積極的に話し合いに取り組み、他者を尊重する力を身に付ける。		課題の提出				積極的に話し合いに取り組んでいる。他者を尊重することができる。				
	単元	自己を見つめた文章を書く	指導項目に対し、次の教材等を活用する。		○		次の観点別評価規準に従い評価する。	○	○	○	6
	知識及び技能		指導事項				知識・技能				
	常用漢字を正確に使い正しい表記や整った文で書ける力を身につける。		書く力を養う				常用漢字を正確に使い正しい表記や整った文で書ける。				
	思考力、判断力、表現力等		教材				思考・判断・表現				
	相手の話を良く聞き、理解したうえで、自分の意見を適切に筋道を立て、根拠を示しながら述べる力を身に付ける。		ワークシート・副教材				相手の話を良く聞き、理解したうえで、自分の意見を適切に筋道を立て、根拠を示しながら述べることができる。				
	学びに向かう力、人間性等		一人1台端末の活用場面				主体的に学習に取り組む態度				
	自己を見つめ、考えを深め、積極的に課題に取り組むことができる。		課題の提出				自己を見つめ、考えを深めている。積極的に課題に取り組むことができる。				

